



台東区議会みんなの党・無所属クラブ

すずき いちろう
鈴木 一郎

循環型社会における本区の実践について

問 ①ソーラーパネル設置には建築上の制限・近隣との調整という課題もあるが、区が区有施設への太陽光発電設備の設置をさらに進めることにより、区民への啓発を行ってはどうか。②「環境ふれあい館まつり 2012」のPRはどのように行っているのか。また、ふれあい館の事業を積極的にPRしてはどうか。**答** ①現在も区有施設への太陽光発電設備の導入や、各種助成制度等に

より再生可能エネルギーの普及啓発を行っている。設備設置の際の啓発は効果的であり、積極的に対応していく。②広報たいとうやホームページ等により、ふれあい館まつりのPRに努めている。ふれあい館は環境学習の拠点として、各種入門講座の開催など、多くの区民の皆様に学習機会を提供しており、今後ともご活用いただけるよう、積極的にPRを図っていく。

災害対策における本区の実践について

問 災害時には、とりわけ自助の取組みが重要である。区民及び事業者に対し、一層の意識啓発を行う必要があると考えるが、どうか。**答** 東日本大震災後の防災意識の高まりを捉え、防災地区の全戸配布や、町会や事業所単位の防災訓練への支援などを行ってきた。今年度からは防災普及指導員を積極的に活用し、自助への取組みをさらに進めている。東京都や消防署と連携し、さらなる意識啓発に努めていく。



日本共産党台東区議団

もてぎ たかよし
茂木 孝孔

就学前教育・保育のあり方検討会について

問 検討会資料によると、区立幼稚園を整理・再編し、新しい施設として体系的に整備するとしているが、これは区立幼稚園を総合こども園にしていく意図ではないのか。このような今後の幼児教育に重要な影響を与える方針は、検討会に示す前に議会で審議すべきではないか。昨年、第三認定こども園の民営方針に批判が出たことをどのように総括しているのか。また、検討会に示された考え方は、就学前教育・保育の運営を経営力の大きな企業の展開ができる株式会社に委ねようとしているものではないか。**答** 検討会では、国の「子ども・子育て新システム」についての資料などを一つの参考としながら、自由に議論をしていただいたところであり、区立幼稚園を無くし、総合こども園にしていくという意図はない。中間のまとめは検討会としての考え方であり、教育委員会として今後の方針を定めるにあたっては、検

討会の提言に加え、議会でも議論をいただきながらさらなる検討をしていく。第三認定こども園の計画当初は反対があったが、協議を続ける中で関係者にご協力をいただき、計画の方向に沿って話し合いをしている。中間のまとめでは、今後の施設の運営形態について、就学前教育・保育の充実の視点に立ち、施設の類型や規模、経費、公営・民営のデメリット、私立施設との関係などを考慮して、適切な運営形態を決定していくことが肝要とされており、こうした状況を見極めながら慎重に検討していく。

介護保険制度について

問 制度の改正により、訪問介護の生活援助提供時間が短縮され、ケアマネジャー等からは、利用者とのコミュニケーションが困難になったといった意見があるが、区ではこのような問題を把握しているのか。関係者や現場の意見を聞いた上で、今後の対応を考えるべきではないか。**答** 介護保険制度改正に伴い、訪問介護における生活援助の時間区分の変更などの介護報酬の見直しが行われた。このため、適切なサービスが提供されるよう、介護事業者を対象とした説明会を開催するなど、制度の周知を図り、適切なサービスが提供されているものと認識している。今後も、円滑な制度運営が図られるよう、様々な機会を通じて現状の把握に努めていく。

その他の質問項目

- 1. 区長の政治姿勢について
- 2. 人材育成について
- 3. 私道排水設備工事費助成について



台東区議会自由民主党・無所属の会

いしかわ よしひろ
石川 義弘

災害対策について

問 ①東京都帰宅困難者対策条例では、事業者が従業員向けの3日分の水・食料等を備蓄することを、努力義務としている。区内事業者へ備蓄を働きかけるためにも、区が率先して職員向けの備蓄を行ってはどうか。②災害時には、断水等により水洗トイレが使用できなくなる可能性が高い。河川に近い公衆トイレ等に高水槽を設け、近隣町会等にD級可搬ポンプを配置し、河川から水を汲み上げ、災害時のトイレ用の水として使用してはどうか。**答** ①帰宅困難者対策として、一斉帰宅の抑制が重要と考える。区内の事業者へ都条例の周知を図っていくためにも、本区の災害対策本部従事職員分と合わせて、一斉帰宅の抑制のために、職員用の水・食料等の計画的な備蓄

を進めていく。②これまで、災害時対応型公衆トイレやマンホール対応型仮設トイレ等の整備を進めてきた。また、帰宅困難者対策としてトイレの確保を含めた防災協定の締結に向けて浅草寺と協議を進めている。トイレの構造、D級可搬ポンプの配置、河川水の利用等の課題も含め、災害時に公衆トイレを確保する手段の一つとして、今後、検討していく。

ご当地ナンバーについて

問 国のナンバープレートのあり方に関する懇談会によると、ナンバープレートは、地域に対する愛着の醸成や個人のアイデンティティーの表現手段としての役割が積極的にとらえられるようになった。台東区まちづくり協力委員会においても、ご当地ナンバーの議論がなされている。そこで、江戸文化を多数抱える本区として、江戸ナンバー等のご当地ナンバーの導入を進めてはどうか。**答** 地域に対する愛着の醸成や地域振興の観点から、新たな地域名表示ナンバープレート、いわゆるご当地ナンバーの導入は、大変有意義なことである。国における検討状況などを見極めながら、その実現に向けて努力していく。

その他の質問項目

- 1. 税収の確保について
- 2. 浅草文化観光センターの利用について



台東区議会区民クラブ

この じゅんの すけ
河野 純之佐

観光バス等の駐車場対策について

問 スカイツリーが開業し、観光バス利用は増加すると考える。一方、バス駐車場の収容台数が減ると聞いている。観光バス利用の見込みはどうか。収容台数の減を補う必要があると考えるが、どうか。路上駐車増大や交通安全の対策にどのように取り組むのか。観光バスの駐車場に対する今後の方向性を示してはどうか。**答** 団体ツアーの増加により、観光バスの利用台数も増加が

見込まれる。隣接区との連携も視野に入れ、駐車場の確保に取り組んでいく。東参道・二天門通りには警備員を増員し、安全確保に努めている。今年度、スカイツリー開業後の交通量等を調査し、効果的な誘導方法を検討していく。

浅草橋駅及び周辺整備について

問 JR浅草橋駅は、バリアフリー化や耐震化が課題であり、誰もが安心して駅を利用し、地域の回遊性を高め活性化を図ることが重要である。駅の耐震化の状況と、それに対する区の対応はどうか。また、駅周辺の整備について、所見を伺う。**答** 現在、JRは駅や高架橋の柱を対象に補強が必要な柱の精査を行っている。区は、バリアフリー化の取組みと併せて協議を進め、可能な対応については積極的に協力していく。今後も、効果的な駅周辺の整備について検討していく。

その他の質問項目

- 1. 保育園の待機児童対策について



台東区議会みんなの党・無所属クラブ

あべ みつとし
阿部 光利

行財政改革について

問 ①区長の強力なリーダーシップのもと、行財政改革を進めていくべきではないか。②教育委員会は、議事録の公開が必要ではないか。**答** ①これまで行政経営推進プランを策定し、健全な行財政運営に努めてきたが、新たに予防的な取組みを行い、より強固で弾力的な行財政基盤の確立に向

け、全力を傾注していく。②会議録については、現在、件名及び審議の結果等を公開しているが、議事内容などを記載した会議録の公開に向け、検討していく。

生活保護行政について

問 ①生活保護制度は個人情報保護が大前提と考えるが、本区における取組みを伺う。②行政の取組みと問題点、法改正を含めた国への要望について、所見を伺う。**答** ①あらゆる機会を通じ、全職員に対して個人情報保護の徹底を図っている。②稼働年齢層の自立支援を重点課題と位置づけ、就労支援に鋭意取り組んでいる。これまで制度の抜本的な改革を要望してきたが、今後も必要に応じ、要望していく。

一般質問の詳しい内容は、会議録（9月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会ホームページ、区立図書館、区役所3階区政情報コーナーにてご覧いただけます。